

第10回 ガーヤちゃん杯争奪

越谷少年柔道大会

審判・監督会議資料

日 時 : 令和8年5月31日(日) 開会式 午前9:50
場 所 : 越谷市総合体育館 第一体育室 (メインアリーナ)
主 催 : 越谷市柔道連盟
共 催 : 公益財団法人 越谷市施設管理公社
後 援 : 公益財団法人 講道館
公益財団法人 全日本柔道連盟
埼玉県柔道連盟
運営協力 : 越谷市立中央中学校 柔道部

審判・監督会議 : 午前9時20分～ 時間厳守。
※ 審判は開始前に出欠確認をいたします。
会場 : 会議室 1、2

0、お願い

本資料を大会前日までに一読し、大会当日ご持参ください。審判会議での配布はありませんのでご注意ください。

1、試合審判規定

国際柔道連盟試合審判規定、少年大会試合審判規定、及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

2、本大会申し合わせ事項

- (1) 試合時間は2分。
- (2) 勝敗の判定基準は「一本」「技有り」「有効」「僅差（指導差2）」とし、スコアの差がなく指導差1以下の場合は「引き分け」とする。
- (3) 「有効」及び「寝姿勢から立姿勢への移行」については2025年の基準を適用する。
- (4) チームの勝敗は、勝数の多少により決める。
勝数が同じ場合は、内容により決する。内容も同じ場合は、代表戦を行う。代表戦は、引き分けた組み合わせの中から審判委員が立ち合いのもと抽選で決める。「引き分け」がない場合「任意選出」とする。
- (5) 代表戦は、時間内にスコアの差が無く指導差1までの場合は旗判定で勝敗を決する。（GSは行わない）。
- (6) 確認事項
 - ・本大会は、「礼」を大切に、重んずる大会です。試合場内の開始線での礼法は正しく行わせて下さい。特に低学年は時間を掛けても結構です。
 - ・「無理な巻き込み技」は、最初から釣手を離して、または技の途中で釣手を離して巻き込む等、軸足のバネを利かすことなく、体を利用して倒れ込むようにして巻き込む技を見逃さないでください。技が崩れた結果である場合、また庇い手はその限りではありません。
 - ・「立ち姿勢で相手の後ろ襟、背部を握る」は、「技を施すため」は認められていますが、「技を施さない」は認められていません。「煽るだけ」のような後ろ襟、背部を握る、を見逃さないでください。
 - ・主審任せにせず、副審も積極的にジェスチャーを入れて下さい。審判の経験が浅い先生もいます、積極的フォローをお願いします。
 - ・判断が難しい場合は3審合議の上、ケアシステムを活用し、副審及び審判委員含め判断してください（手順を踏む）。
 - ・副審は、合議（要求される、する）、救護への帯同、試合者が近づく、以外は不用意に立ち上がらないで下さい。
 - ・頭、頸椎損傷の疑いがある場合等、直ちに医師を呼び、試合者を動かさず医師の判断を仰いで下さい。勝者指示は、負傷した試合者を医師に委ねたのち、実施してください。

- ・決勝戦は、指名審判と致します。審判長が準決勝の勝ち上がりを見て依頼しますので待機をお願いいたします。
- ・諸事情で会場を離れる際は、主任審判員もしくは審判長までお声がけください。

3、開会式整列

- ・開会式前になりましたらご自身の試合場にて待機するようにして下さい。
- ・越谷市柔道連盟の審判及び試合場係が誘導をしますが、**畳に上がり第1,2試合場、第3,4試合場の審判で左右に分かれ、選手を挟むように整列をお願い致します。**

4、柔道衣確認

- ・開会式終了直後、直ちに、整列している選手の柔道衣チェックを致します。
- ・自身の所属以外で1団体（低学年、高学年）／1名以上でチェックをお願いします。チェックで問題ない選手はその場に座らせてください。
- ・明らかに規格以外の選手がいましたら、近くの主任審判員（割付表①）を通じて審判長までご連絡下さい。

5、試合場への入場

- ・「リーグ戦」「決勝トーナメント」の第一試合と、「準決勝戦」は、全試合会場一斉に開始いたします。
- ・それぞれ、アナウンス及び試合場係の指示に従ってください。
「審判の先生は、**畳にお上がり下さい。**」のアナウンスで、畳に上がってください。
「審判の先生は、**試合場にお進み下さい。**」のアナウンスで、先に進み、**試合場前で立ち止まってください**（6試合場の審判が揃うまで）。
「**入場して下さい。**」のアナウンスで、試合場内に入り「(団体戦の)礼」を行ってください。

その間、試合場係とアナウンスで選手を入場させ、**試合場前で整列**させます。

「**副審の先生は、対戦表およびゼッケンの確認をお願いします。**」のアナウンスで、副審は、試合場前で整列している選手の「ゼッケン」と「対戦表」で選手確認をして下さい。

(第2試合目以降も「ゼッケンと対戦表」で選手確認を行ってください。)

「ゼッケン」と「対戦表」の確認が終わったら、その場で待機させ、**「選手を入場させて下さい。」**のアナウンスで、選手全員を入場させ「整列での礼」を実施してください。

「整列の礼」が終わり、先鋒が試合場の外で待機ができましたら**「試合を開始してください。」**のアナウンスで、先鋒を入場させ、試合を開始してください。

6、審判順

- ・①印の審判が主任審判員を務めます。試合会場の審判順をコントロールして下さい。
- ・準決勝戦までは、各会場の審判員で主審抜けにて行ってください。

- ・低学年は、先鋒／1主審、中堅／2主審、大将、(代表戦)勝者指示／3主審、の順で輪番にて進めてください。
- ・高学年は、先鋒、次鋒／1主審、中堅、副将／2主審、大将、(代表戦)勝者指示／3主審、の順で輪番にて進めてください。
- ・予選リーグは所属団体の試合はない割り振りをしておりますが、決勝トーナメントは所属団体の試合は外れて(審判委員含む)行って下さい。
- ・決勝戦は、指名審判と致します。準決勝の時間で指名審判へ個別に案内します。

8、審判委員

- ・審判委員は、時計系の隣で行ってください。
- ・ケアシステムとしてタブレット端末を準備しております。審判委員で操作をお願いします。試合中、使用が難しい場合は無理せず(時間を掛けず主審と有無を速やかに決め)進行を優先してください。

9、試合進行

- ・試合の進行具合によっては、対戦の試合場を変更する場合があります。各試合場係の指示、もしくはアナウンスに従ってください。
- ・昼食は、審判控え室(会議室1, 2)にて準備いたします。試合進行を見計らい順次取ってください。(柔道教室の時間も活用下さい)

10、救護

- ・第2,3試合場の間と第5,6試合場の間に救護を設けます。止血等は救護に近い副審が選手を誘導して下さい。なお、医師は第2,3試合場の間の救護に配置します。

11、大会要項にない特別な事項についてお知らせ

- ・モンゴル国より特別招待チームを招聘しております。大会前日には、少年大会試合審判規定及び申し合わせ事項の説明を行っておりますが、万が一危険な場面があった際は躊躇せず「待て」を掛けてください。怪我を未然に防止するよう、ご協力のほどよろしく願いいたします。

12、その他

- ・12:30~お昼の時間帯を利用し柔道教室を開催致します。午前中で予選リーグ終了する予定でありますので、審判員及び試合場係の協力のもとスムーズな試合進行をお願い致します。

以上



少年大会試合審判規定